

# 支部だより

from The Branch

LOKUSHIMA

平成20年度

徳島支部総会

徳島支部幹事

清部 敢司

平成20年度の岡山理大同窓会徳島支部総会が、8月23日(土)に徳島県阿南市で開催されました。総会には、大学から豊田副学



船上に会場を移し開催。故加計名譽理事長が思い出の地とされていた松江それも宍道湖の上で行うことができました。今年も特に参加者の増加をいかにするか問題になりました。今後の課題としてあります。

長をはじめ、小西同窓会副会長、廣川同窓会本部役員のご臨席をいただき、徳島県内在住の同窓会会員との親睦を深めることができました。当日は、開会に先立ち、4月30日に逝去された、理大創立者で初代学長の加計 勉名譽理事長のご冥福をお祈りし、先生から頂いたご恩情に感謝するため黙祷を捧げました。総会では、昨年度決算と予算の了承と支部活動方針について審議され、来年度支部総会の開催を決定して終了しました。引き続き行われた豊田副学長による「大学の近況」についてのご講演では、ますます発展を続ける理大の状況と、少子化時代の学生確保に向けた取り組みについて理解を深めました。また同窓会本部からは、同窓会会員子女の理大入学に際した助成制度と、学園創立50周年記念事業として大学正門等の建設計画について説明があり、卒業生として理大のますますの発展を願う気持ちを感じました。会場を移して行われた懇親会は、宇田徳島支部副支部長の乾杯の音頭に始まり、終始和やかな雰囲気の中で大学時代の思い出にふけることができ、全員で学歌を斉唱し盛り上がりしました。今回、阿南市での支部総会開催で、阿南市と県内在住の同窓生が多数参加されることを期待しておりましたが、仕事等で都合が悪く地元出席者が少なかつたのが残念でした。次回は、事前に支部役員と連携して参加者を増やせる努力が必要であろうと考えます。最後に、お忙しい中駆けつけていただきました豊田副学長、同窓会本部の方々、

支部総会にメッセージを頂いた加計 孝太郎理事長先生のお心に感謝すると共に、同窓生の皆さんとの交流が今後も長く続くことを願っております。



KAGOSHIMA

平成20年度

鹿児島支部総会

平成20年度2月に鹿児島支部の同窓会が大学 木村宏副学長、同窓会 山口一裕副会長、同窓会 瀬良道訓理事を迎え、総勢15名で開催された。

まず、支部長相盛の開会挨拶で、副学長からの大学の近況報告を受け、大学を身近に感じて頂くと共に同期の方への声かけをして頂き、鹿児島支部同窓会の活性化をお願いする。また、大学の学生募集についてもご理解とご協力をお願いした。

大学 木村宏副学長から、鹿児島地区の理大生また受験者が多く、鹿児島との強い結びつきを感じている。その鹿児島に來られたことに関して感謝の言葉からはじまり、「大学の近況報告他」を参加者は興味深く、大学関係者の活躍の報告に拍手も起きた。パンフレットのキャンパスマップでキャンパス内は、より充実した校舎・施設に変化してきている。大学創立50周年(2011年)の記念館を市内が一望できる絶好の場所に建設する予定。次に、理学部に動物学(ペットでなく野生動物を扱う)、工学部にアクアバイオコースを新設。両コースについては、受験生にとって身近に感じ、関心が高く、出願が予想以上に高かった。今後も受験生にとってコースに合う、わかりやすい学科コースで学生増を展開していく。さらに、文部科学省「学術研究高度化推進事業4部門(社会連携研究センター(社会連携研究推進事業)、シミュレーション科学センター(学術フロンティア

推進事業・オープン・リサーチ・センター(オープン・リサーチ・センター整備事業)ハイテク・リサーチ・センター(ハイテク・リサーチ・センター整備事業)」すべてで、先進的な取り組みで、その成果を報告された。最後に、新学長に波田教授(生物学専攻)就任(平成20年4月)との報告があった。次に、同窓会 山口一裕副会長が、理事長からのメッセージを代読され、今年度は、高校の先生方からの推薦、OBからの特別推薦入試で受験者が増加し、AO入試・推薦入試は好調であったとのこと。続いて、質疑応答を受けられ、同窓会 瀬良道訓理事から同窓会創立40周年記念・加計学園創立50周年記念行事の進捗状況、支部の協力依頼をされた。会を滞りなくスムーズに終え、副支部長小倉の閉会の挨拶として賑やかな親睦会に参加者同士の親睦を深め、鹿児島支部同窓会の結束はさらに強まった。

